

薬剤室に就職を検討されている方へ



病院概要

開設日	2012年4月1日
開設者・運営者	公益社団法人 地域医療振興協会
病床数	12病棟 457床
診療科目	総合救急診療科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、膠原病・リウマチ内科、腎臓内科、糖尿病内科、脳神経内科、血液内科、小児科、外科、乳腺外科、整形外科、心血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、皮膚科、形成外科、産婦人科、眼科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、精神科、リハビリテーション科、臨床検査科、放射線科、麻酔科、病理診断科、感染症内科、歯科口腔外科

POINT

- ・ほぼ全診療科があり症例が豊富
- ・中規模病院なので職種間連携が良好

地域医療振興協会とは

当院は地域医療振興協会（JADECOM）に所属する病院です。地域医療振興協会は、地域医療の確保と質の向上を図り、それによって地域の振興を図ることを目的に設立された公益社団法人です。全国に70を超える医療施設を管理・運営しており、志を同じくする仲間が、日々様々な医療活動を通じて、地域医療を支えています。



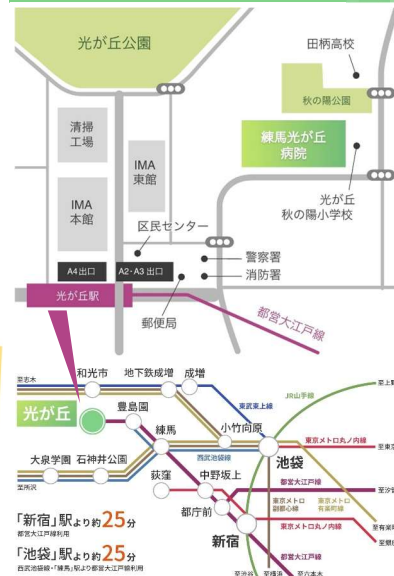
当院は2022年10月の新病院移転に伴い診療科や病床数が拡充され、練馬区と埼玉県南西部における二次医療圏の地域医療を担う当院への期待やニーズは一層高まっています。薬剤室ではそれらのニーズに対応し、患者様に安全で効果的な薬物療法を提供するために日々業務を行っています。

昨今は医師業務のタスク・シフティング／シェアリングの推進により、薬剤師に求められる技能や知識はますます高度化・広域化しています。薬剤室では各自が個人目標を設定してアウトカム評価を行い、自己研鑽や認定・専門資格取得を評価しているほか、学会・研修会等による知識習得を支援し、医療の質向上を目指しています。

また、時短勤務や子の看護休暇、リフレッシュ休暇などの福利厚生が充実しているため、ライフステージが変化しても長く働き続けられる環境が整っています。ぜひ見学に来てください。Web見学も可能です。皆さんと一緒に練馬光が丘病院薬剤室を盛り上げていける事を願っています。

練馬光が丘病院 医療技術部 薬剤室長 福永 貴志

交通アクセス



薬剤室紹介



薬剤室の特色

委員会	病棟業務	チーム医療
DI	フロア業務	薬品管理
抗がん剤調製	無菌調製 院内製剤	支援業務

- ・練馬区と周辺の地域医療を支える急性期病院の薬剤部門として24時間体制で業務を行っています。
- ・平日は調剤室、注射室、病棟担当に分かれて業務を行うほか、チーム医療やDI業務、TPNの無菌調製や抗がん剤調製など病院薬剤師として求められる業務を広く行っています。
- ・ほぼ全ての診療科が揃っており、幅広い薬の知識が習得可能です。薬剤室内での抄読会や勉強会を定期的に行っているほか、学会参加の助成制度もあり、知識をupdateできる環境があります。
- ・出産や育児をしながら長く働き続けられる環境が整っています。リフレッシュ休暇や子の看護休暇など福利厚生が充実しています。
- ・薬剤師経験2年以上で他施設支援業務に携わる事ができます。

薬剤室概要

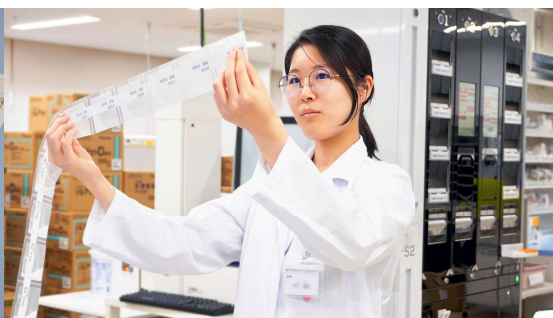
所属人員	薬剤師 28名 医療事務 2名	
勤務体制	日勤帯	8:30 ~ 17:15 (休憩 45分)
	夜勤帯	16:30 ~ 9:00 (平日 17:15 ~ 19:30 までは2人勤務体制) 土・日・祝日当番勤務あり
処方箋枚数 (2021年度)	入院処方	5,864 枚 / 月
	外来院内処方	803 枚 / 月
	外来院外処方	7,937 枚 / 月 (院外処方箋発行率 89.9%)
薬剤管理指導件数 (2021年度)	薬剤管理指導料 1 (ハイリスク)	356件 / 月
	薬剤管理指導料 2 (上記以外)	434件 / 月
	退院時薬剤情報管理指導料	313件 / 月
所属薬剤師が取得している専門・認定資格	外来がん治療認定薬剤師 感染制御認定薬剤師 抗菌化学療法認定薬剤師 周術期管理チーム薬剤師	小児薬物療法認定薬剤師 日本糖尿病療養指導士 日病薬病院薬学認定薬剤師 研修認定薬剤師
薬剤師が参加しているチーム医療等	AST (抗菌薬適正使用支援チーム) ICT (感染対策チーム) NST (栄養サポートチーム) PCT (緩和ケアチーム)	化学療法委員会 褥瘡対策チーム 摂食嚥下支援チーム 糖尿病チーム

調剤室

- 内服・外用薬調剤
- 院外処方箋の疑義照会対応
- DI業務

平日は薬剤師3～4名が担当します。自動錠剤分機、調剤監査支援システム、錠剤自動仕分機を導入し、業務の正確性と効率化を図っています。

また、併設のおくすり相談室にて患者のプライバシーに配慮しながら外来化学療法患者の服薬指導を行っています。



注射調剤室

- 注射調剤
- 向精神薬、麻酔薬等の管理・払出し
- 病棟・各科請求薬剤の払出し
- 高カロリー輸液等の調製

平日は薬剤師2～3名が担当します。注射薬自動払出システムを導入し、業務の正確性と効率化を図っています。また、製剤室にて高カロリー輸液の無菌調製および院内製剤の調製を行っています。



抗がん剤調製室

- がん化学療法の処方監査
- 外来・入院患者の抗がん剤調製

患者の体重や血液検査結果から投与量や投与可否を確認し、調製者・監査者の2名がダブルチェックで確認しながら正確に調製を行っています。医師、化学療法室看護師、病棟看護師、病棟薬剤師とも連携しながら安全で効果的ながん化学療法を行っています。



病棟業務

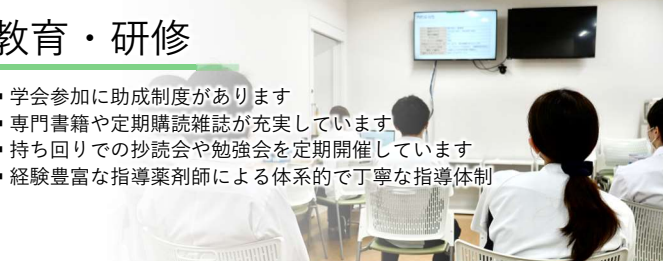
- 薬物治療適正化のための処方提案・TDM
- 服薬指導などの薬剤管理指導業務
- 常備配置薬の管理
- 各種カンファレンス、チーム医療参加

各病棟2～3名の担当薬剤師が情報共有しながら業務を行っています。病棟カンファレンスやチーム医療にも参加し、多職種連携を通じて薬物療法の質向上を支援しています。



教育・研修

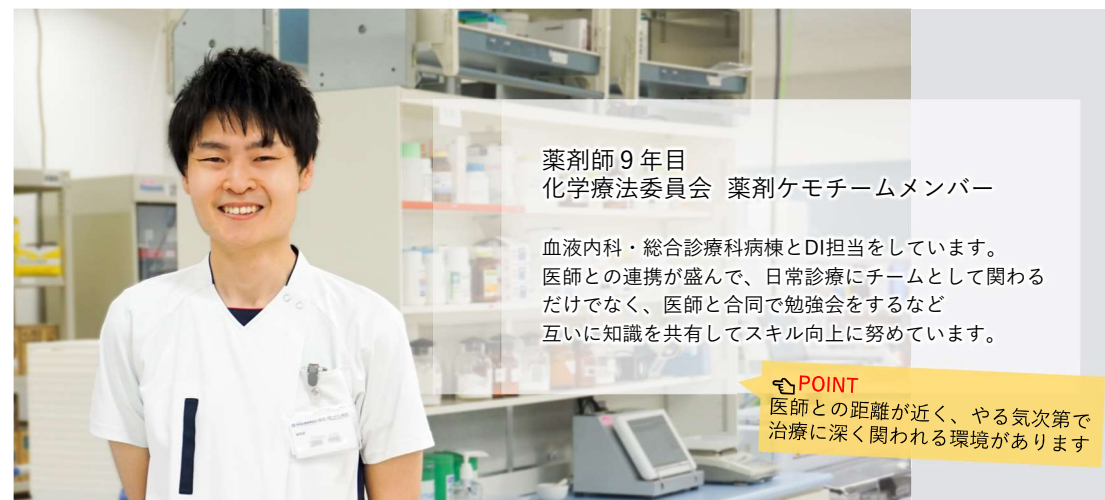
- 学会参加に助成制度があります
- 専門書籍や定期購読雑誌が充実しています
- 持ち回りでの抄読会や勉強会を定期開催しています
- 経験豊富な指導薬剤師による体系的で丁寧な指導体制



ある1日のタイムスケジュール



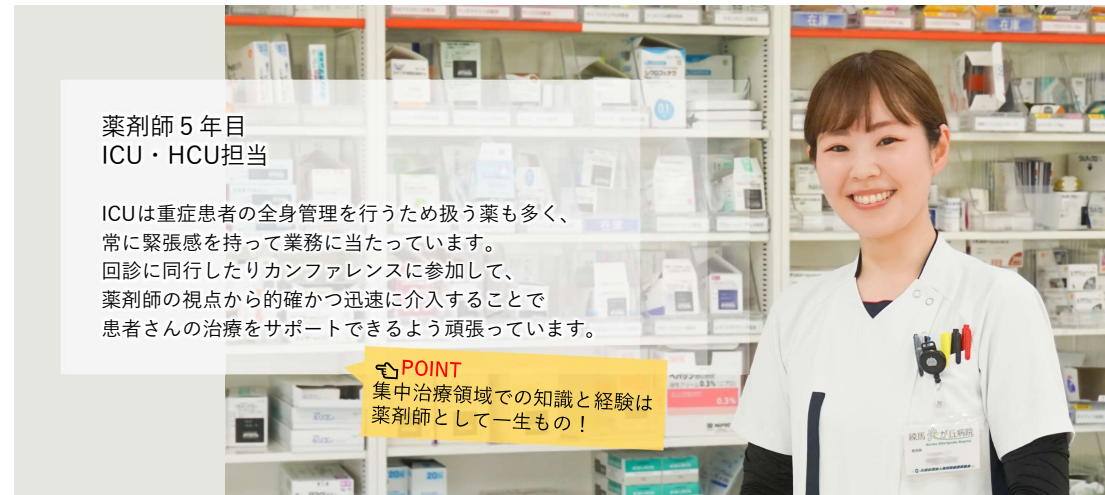
先輩からのメッセージ



薬剤師9年目
化学療法委員会 薬剤ケモチームメンバー

血液内科・総合診療科病棟とDI担当をしています。医師との連携が盛んで、日常診療にチームとして関わらただけでなく、医師と合同で勉強会をするなど互いに知識を共有してスキル向上に努めています。

POINT
医師との距離が近く、やる気次第で治療に深く関わられる環境があります



薬剤師5年目
ICU・HCU担当

ICUは重症患者の全身管理を行うため扱う薬も多く、常に緊張感を持って業務に当たっています。回診に同行したりカンファレンスに参加して、薬剤師の視点からの確かつ迅速に介入することで患者さんの治療をサポートできるよう頑張っています。

POINT
集中治療領域での知識と経験は薬剤師として一生もの!